

作題意図，評価基準概要

問題1 アドミッションポリシーとの関連

1. 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得および探求に意欲のある者
2. 高い専門的知識・技能の習得に必要な基礎的学力を備えている者
3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者
4. 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者
5. 多様な価値観を尊重できる者
6. 論理的に思考し表現・行動できる者

上記アドミッションポリシー2、4、5、6と関連

作題意図

図表の理解、専門的な知識・技術の習得に必要な基礎的学力を評価する。加えて論理的思考力、文章表現力を評価する。図表の理解では、図表が示す内容、意味を理解し保健医療に関わる社会背景等を踏まえて解釈し、考察する力を評価する。

着眼点

- 1) 図表の理解
- 2) 内容の適切さ
- 3) 論理的思考力
- 4) 文章表現力

採点基準案 配点 100 点

採点基準の詳細はループリック評価表を参照

問題2 アドミッションポリシーとの関連

1. 専門職に関心を持ち、必要な科学的知識・技術の習得および探求に意欲のある者
2. 高い専門的知識・技能の習得に必要な基礎的学力を備えている者
3. 他者とよい人間関係を作るためのコミュニケーション能力を備えている者
4. 常に社会の変化に関心を持ち、専門職として社会に貢献する意欲のある者
5. 多様な価値観を尊重できる者
6. 論理的に思考し表現・行動できる者

上記アドミッションポリシー3, 4, 5, 6 と関連

作題意図

山形県内の地域の魅力を理解しているか、また、共生社会の実現に向けて、自己と異なる多様性を持つ人々の視点から、ものごとを考察しようとする姿勢や洞察力があるかを評価する。これらを文章で表現するための説明能力や論理的思考力を評価する。

評価の視点

- 1) 対象の明確さ
- 2) 内容の適切さ
- 3) 論理的思考力
- 4) 文章表現力

採点基準案 **配点 100 点（問1 50 点、問2 50 点）**

採点基準の詳細はルーブリック評価表を参照

令和7年度 総合型選抜小論文評価表

1

配点（100点）

	評価の 視点	評価項目	配点	S	A	B	C	D	
題意の 理解	図表の 理解	図表で示されて いる内容を 適切に理解し 記述すること ができる	25	図表の内容が正 確に捉えられ適 切に記述されて いる	図表の内容が概 ね正確に捉えら れ記述されてい る	図表の内容が記 述されているが 正確性に欠ける	図のいずれかの 内容に関する記 述がない。	記述がない	
				25	20	15	10	0	
	内容の 適切さ	図表から読み 取った内容に 基づき、課題 や必要な取り 組みについて 適切に考察し 、記述できる	25	図表の内容を踏 まえて課題につ いての記述があ り、必要な取 組みについてが 具体的であり説 得力がある	図表の内容を踏 まえての課題や 取り組みに関す る内容が概ね具 体的に記述され ている	図表の内容を踏 まえての課題や 取り組みのどち らかが記載され ているが説得力 に欠ける（ある いは課題に対す る取り組みが、 どちらかの視点 での内容にとど まっている）	課題の記述内容 が図表と関連が 不明確である （あるいは関連 が曖昧）。必要 な取り組みに関 する記述が具体 性に欠ける	記述がない	
				25	20	15	10	0	
	全体	論理的 思考力	論理的な思考 が読み取れる 文章構成であ る	25	文章全体のす じみちが明確で 、順序だてて論 じられている	文章全体のす じみちが概ね明 確で、概ね順序 だてて論じられ ている	文章全体のす じみちがやや不 明確で、やや順 序だてて論じら れていない	文章全体のす じみちが不明 確で、順序だて て論じられてい ない	文章全体が支離 滅裂
					25	20	15	10	0
文章 表現力		適切な言葉遣 いで読みやす い文章である	25	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが非常 に適切である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが適切 である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどがやや 不適切である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが不適 切である	記述が読み取れ ない	
	25			20	15	10	0		
								合計（a）	

	評価項目
減点項目	誤字・脱字、1個につき1点減点し、－5点を限度とする（同じ文字でも、誤字ごとに1点減点）。
	文字数が規定の8割（480字）に満たない場合は5点減点とする。
合計（b）	

得点(a)－(b)

問題 1

解答例

図1より、要支援者が約65%の方が外出を控えていると回答しているのに対し、一般高齢者においても25%以上の方が、外出を控えているかの設問に「はい」と回答している。また、一般高齢者の方が外出を控えている理由については、図2より足腰の痛みを理由とする高齢者が4割程度おり、次いで外での楽しみがないことを理由とする方が2割弱であった。また、交通手段がない、トイレの心配を理由とする人が各々1割程度であると読み取ることができる。

一般高齢者の外出の促進のための取り組みについて、県や市（自治体）と地域のコミュニティで取り組むことの2つの視点で述べる。一般高齢者が外出を控える理由として回答した足腰の痛みや交通手段がないという理由に対して県や市、公共機関ではタクシー券の配布やコミュニティバス運営の拡大（路線、運行数の拡大）など移動手段の充実に関する支援をすることに加え、利用時の足腰の負担の軽減を図るために、設備や乗り物の段差や階段を少なくする、エレベータ等を設置するという取り組みにより身体的な負担を軽減することが必要であると考え。トイレの心配を理由とすることに対しては、電車の中にもトイレの設置を増やすなどの取り組みで安心して外出できるようになると考える。また地域のコミュニティでは、高齢者の楽しみを増やすために高齢者サロンなど地域住民が主体となり社会的な交流の機会を作る等などの取り組みが必要であると考え。（599文字/600文字）

令和7年度 総合型選抜小論文評価表

2

配点（100点）

問1 配点（50点）

	評価の 視点	評価項目	配点	S	A	B	C	D
題意 の 理解	対象の 明確さ	対象とする市 町村または地 域、タイトル を明確に記述 できている	5	市町村または地 域（１か所）、 タイトルを明確 に示し記述して いる		市町村または地 域、タイトルを 示しているがわ かりにくい	市町村または地 域、タイトルを 複数示している	県内の市町村ま たは地域、タイ トルを示してい ない
				5			3	1
	内容の 適切さ	アピールした い魅力が記述 できている	10	アピールしたい 魅力が明確に記 述され、説得力 がある	アピールしたい 魅力が概ね明確 に記述され、概 ね説得力がある	アピールしたい 魅力が記述され ているが、内容 が曖昧で説得力 に欠ける	記述はあるが、 アピールしたい 魅力が明確でな く、説得力がな い	記述がない
				10	8	5	2	0
		共生社会の実 現に向けた内 容（楽しめるポ イントと必要な ルール等）が具 体的に述べら れている	15	共生社会の実現 に向けた内容が 具体的に記述さ れ説得力がある	共生社会の実現 に向けた内容が概 ね具体的に記述 され説得力があ る	共生社会の実現 に向けた内容が 記述されている が、説得力に欠 ける	共生社会の実現 に向けた内容が 明確でなく、説 得力がない	共生社会に関す る記述がない
				15	10	5	3	0
全体	論理的 思考力	論理的な思考 が読み取れる 文章構成であ る	10	文章全体のすじ みちが明確で、 順序だてて論じ られている	文章全体のすじ みちが概ね明確 で、概ね順序だ てて論じられて いる	文章全体のすじ みちがやや不明 確で、やや順序 だてて論じられ ていない	文章全体のすじ みちが不明確 で、順序だてて 論じられていな い	文章全体が支離 滅裂
				10	8	5	2	0
	文章 表現力	適切な言葉遣 いで読みやす い文章である	10	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが非常 に適切である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが適切 である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどがやや 不適切である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが不適 切である	記述が読み取れ ない
				10	8	5	2	0
合計（a）								

	評価項目	
減点項目	誤字・脱字，1個につき1点減点し、－5点を限度とする（同じ文字でも，誤字ごとに1点減点）。	
	文字数が規定（8割：240文字）に満たない場合は5点減点とする。	
		合計（b）

問2 配点（50点）

	評価の 視点	評価項目	配点	S	A	B	C	D
題意 の 理解	内容の 適切さ (参加 者)	問 1 の回答内 容を踏まえ て、共生社会 の実現に向 けた参加者 が具体的に 述べられて いる	15	問1との整合性 を持った共生社 会の実現に向 けた参加者が 具体的に記述 され、説得力 がある	共生社会の実現 に向けた参加者 が、問1の内容 を踏まえて、概 ね具体的に記述 され説得力があ る	共生社会の実現 に向けた参加者 が記述されてい るが、具体性、 問1との整合性 および説得力に 欠ける	共生社会の実現 に向けた参加者 が明確でなく、 説得力がない	共生社会の実現 に向けた参加者 に関する記述が ない
				15	10	5	3	0
	内容の 適切さ (工夫)	問 1 の回答内 容を踏まえ て、共生社会 の実現に向 けた工夫が具 体的に述べら れている	15	問1との整合性 を持った共生社 会の実現に向 けた工夫が具 体的に記述さ れ、説得力があ る	共生社会の実現 に向けた工夫 が、問1の内容 を踏まえて、概 ね具体的に記述 され説得力があ る	共生社会の実現 に向けた工夫が 記述されてい るが、具体性、問 1との整合性お よび説得力に欠 ける	共生社会の実現 に向けた工夫が 明確でなく、説 得力がない	共生社会の実現 に向けた工夫に 関する記述がな い
				15	10	5	3	0
全体	論理的 思考力	論理的な思考 が読み取れる 文章構成であ る	10	文章全体のすじ みちが明確で、 順序だてて論じ られている	文章全体のすじ みちが概ね明確 で、概ね順序だ てて論じられて いる	文章全体のすじ みちがやや不明 確で、やや順序 だてて論じられ ていない	文章全体のすじ みちが不明確 で、順序だてて 論じられていな い	文章全体が支離 滅裂
				10	8	5	2	0
	文章 表現力	適切な言葉遣 いで読みやす い文章である	10	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが非常 に適切である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが適切 である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどがやや 不適切である	段落の設定や一 文の長さ、言葉 遣いなどが不適 切である	記述が読み取れ ない
				10	8	5	2	0
								合計（c）

	評価項目	
減点項目	誤字・脱字，1個につき1点減点し、－5点を限度とする（同じ文字でも，誤字ごとに1点減点）。	
	文字数が規定（8割：240文字）に満たない場合は5点減点とする。	
		合計（d）

合計得点
(a)－(b)＋(c)－(d)

解答例①

1. 選択した地域・市町村：山形市

2. ゆるスポーツのタイトル：スノーモンスターサッカー

3. アイディア・概要

山形市にある蔵王スキー場では、冬になると氷や雪が樹木に付着してできる樹氷が出現する。樹氷は国内外でも珍しい現象と言われており樹氷を見ながらスキーを楽しむ観光客が毎年多く訪れている。

樹氷は、スノーモンスターとも言われ、怪獣のような形状が特徴的である。スノーモンスターサッカーでは、プレイヤーは樹氷の着ぐるみを着用してサッカーを行う。基本的なルールはサッカーと同じであるが、樹氷の着ぐるみは走りにくいのでコミカルな動きでのプレイとなる。一方、車いす利用者や子どもたち等は、上半身の着ぐるみのため、通常の走行が可能である。ゴールが決まったら、メンバーが集まって樹氷の塊で雪像になるパフォーマンスを行う。(298文字)

4. 共生社会の実現に向けた工夫

スノーモンスターサッカーでは、高齢者や幼児、車いす利用者など、誰もが楽しく参加できることを想定している。樹氷の着ぐるみを着ることで年齢やサッカー経験の有無は関係なくなり、むしろ、子どもや車いす利用者は上半身の着ぐるみで、いつも通りの移動が可能となるため、フィールドでは重要な戦力となる。また、ゴールが決まったときの雪像パフォーマンスをルールとして取り入れる。これによって、仲間とともにゴールを喜んだり、雪像パフォーマンスで一体感を味わったりして、お互いが一緒に仲間であることを実感できるのではないかと考える。サッカーのコートで生まれた共生社会が実際の生活にも反映されることを期待したい。293文字

スノーモンスターサッカーでは、年齢や性別、スポーツ経験、病気や障がいの有無などにかかわらず、誰もが楽しく参加できることを想定している。そのための工夫として、サッカーとしての基本的なルールはあるが、それを厳密に行うということではなく、むしろ、参加者の特性に合わせて皆で相談して柔軟にルール変更を行ったり（幼児は走ってもよい、80代の方のゴールは3ポイント、車いすの方はバスケットのように手でシュートしてもよい等）、一人ひとりが楽しい雰囲気づくりに一役買ったり、お互いが思いやりをもって参加することを心がけるものとしたい。サッカーのコートで生まれた共生社会が実際の生活にも反映されることを期待したい。295文字

解答例②

1. 選択した地域・市町村：山形市

2. ゆるスポーツのタイトル：花笠リレー

3. アイディア・概要

山形県内では、毎年夏に各市町村で花笠パレードが行われている。山形県民にとっては誰でも一度は踊ったことがあるなじみのある踊りである。

花笠リレーでは、参加者が花笠をバトンの代わりにして走る。パラリンピックのように、年代や性別、障害の程度でカテゴリーを細かく分け、カテゴリー内で勝敗を争う形式とし、身体的なハンディキャップが不利益にならないように配慮する。(175文字)

*カテゴリー分けは、共生ではなく分断・隔離になる。「花笠を持ってない」人を想定しているのか不明。文字数不足。

4. 共生社会の実現に向けた工夫

花笠リレーでは、様々な身体障がい者の方の参加を想定している。身体的なハンディキャップが不利益にならないように配慮することが必要であり、公平性を保つことができる工夫を行う。具体的には、年代や性別、障害の程度でカテゴリーを細かく分け、カテゴリー内で勝敗を争う形式とし、異なるカテゴリーの参加者同士が競い合うことがないようにする。例えば、車いすの方であっても、自走型か電動かによってカテゴリーを分けたりなどである。204文字

* 3で答えたアイディア・概要の繰り返しであり、具体的な内容が乏しい。